

羅針盤

『PBL(課題解決型学習)』等実践事例の紹介

今号は、令和4年度に取材した小学校、中学校、高等学校のPBLに関する実践事例の概要を紹介し、詳しい内容は、当センターのHPをご覧ください。

Project Based Learning

「PBL」とは……子どもたちが、自ら課題を見つけ、その課題を自ら解決する過程を通して、課題を解決するために必要な資質・能力を身に付ける学習方法のことであり、「課題解決型学習」ともいわれます。

真庭市立遷喬小学校

Point1 地域貢献に向け 探究し発信

総合的な学習の時間では「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程を1年間に何度も繰り返す。

最終の「まとめ・表現」では、実際に子どもが立案した活動の実施や成果物の活用等の発信をすることで、地域貢献を行う。

Point2 更新し続ける カリキュラム

育成したい資質・能力などから、見通しを立てて学習を進める。しかし、教師の想定通りにならない場合がある。

子どもたちの反応や求めによって柔軟に修正する。当初の想定と違っていてもよいという教師の構えが重要。



高梁市立高梁中学校

Point1 単発的取組から 継続的取組へ

総合的な学習の時間(以下総学)において、1~3年生の取組が単発的で必ずしも結びついていない状況だった。

3年間を通した「高梁未来学」を核にした計画的なPBLを総学の中に位置付け、社会的自立に必要な力の育成を目指した。

Point2 計画的な 実施に向けて

計画的なPBLの実施には教員間だけでなく、教員と生徒間でもゴールイメージを共有し、学年ごとに途切れない指導が必要。

学校独自指標を活用し、育成する資質・能力をまとめ、学習の場面や段階に応じて、現在地や目標を把握できるように取り組む。



県立岡山工業高等学校

Point1 7つの科の 横断的取組

STEAM教育を学校の柱として位置付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を目指す。

7つの科の横のつながりを意識し「総合的な探究の時間」等で課題解決能力の育成を図る「OCP※」を行う。※Okako Creative Project

Point2 生徒に任せ 自分ごとの取組に

生徒が自分ごととして取り組み、教師はサポートに徹することが今後の課題であり、求められていることでもあると考えている。

私たち教師こそ「本物を体験し」「見通しをもち」「教えないことで起こる生徒の変化」に気付いていくことが大切。



当センターでは、令和5年度に経年研修や専門研修等で「PBL」をテーマとした研修を充実させる予定です。PBLの推進により、子どもたちが「今、求められる資質・能力」を身に付けられるよう、共に頑張っていきたいと思います。

タイムリーな情報をお届け

岡山県総合教育センター Official Facebook



岡山県総合教育センターTwitter始めました @okayama_prefedu フォローお願いします

ぜひご活用ください

授業を探究する学校 ICTで授業を観合い語り合う学校風土づくり ~時間と空間の制約を越えて~



おかやま ICT活用実践事例集

岡山県総合教育センター

研修動画 配信中!

YouTube

公式チャンネル

岡山県総合教育センターの ホームページで情報発信中!

「岡山県総合教育センター」で検索してください

